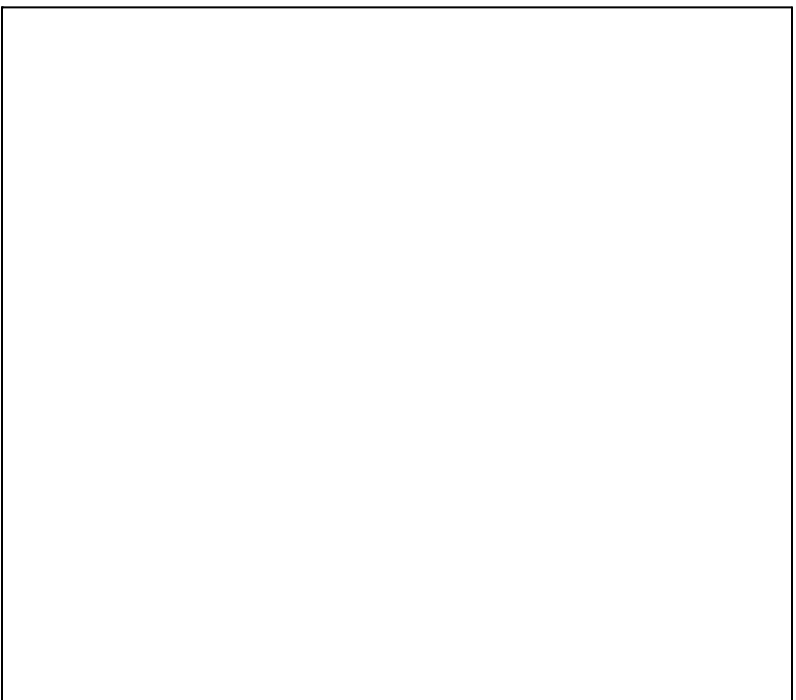


# 形あてゲーム

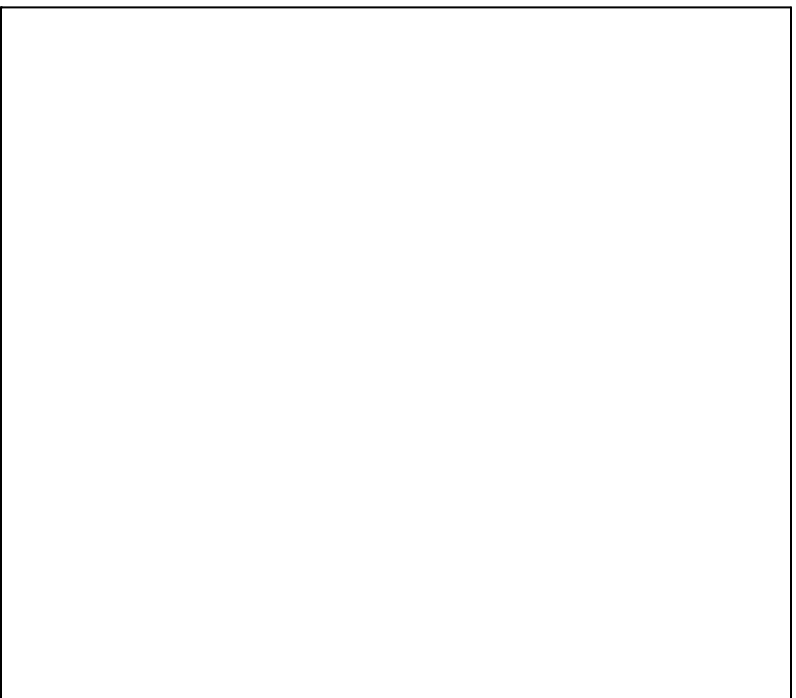
年 組 名前

1、せつめいをよく聞いて、そのとおりに絵をかくゲームをしましょう。



まず、大きなまるを一つかいてください。  
つぎに、まるのまん中に点を二つ、よこ  
にならべてかいてください。  
それから、点の下に、上むきの小さい三  
角を一つかいてください。  
さいごに、三角のすぐ下に、よこ線を  
一本かいてください。

2、おなじように、先生のせつめいを  
よく聞いて、絵をかいてみましょう。



3、友だちと組になり、いろいろなも  
のかき方を聞いて、絵をかいてみ  
ましょう。



# ねらいと活用のポイント

## 一、ねらい



- ・ 事柄の順序を考えながら、相手に分かるように話す。
- ・ 図をかくために必要な事柄を落とさないようにしながら、興味を持って聞く。

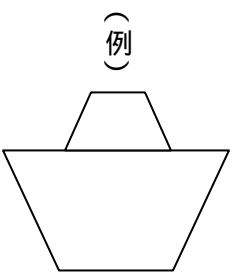
## 二、指導のポイント

- ・ 「話すこと・聞くこと」の実践的な力を身につけるために、児童の好きなゲームを取り入れます。それにより、指導内容と言語活動との密接な関連を図り、児童の主體的な学習活動を促しながら、学習の効果を上げます。
- ・ 話をするときには、必ず相手が存在することを意識させ、聞く側に立ちどんな話し方が分かりやすいかを考えさせましょう。
- ・ 聞く側にも分からなかったことを積極的に尋ねさせたり、聞きたいことを質問させたりすることにより、正しく聞き取らせるよう助言します。

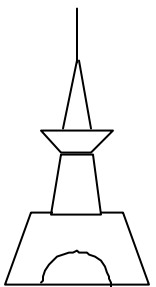
## 三、補足資料

学習が進めば、次のようなゲームも考えられます。

- (1) 今度は、説明を最後まで聞いてから、絵をかきましょう。
- (2) 最初に、 は「台の形」、 は「縦長の三角」など、形の呼び方を決めておきます。それから、左のような絵をかかせましょう。



船



東京タワー

## 四、出典

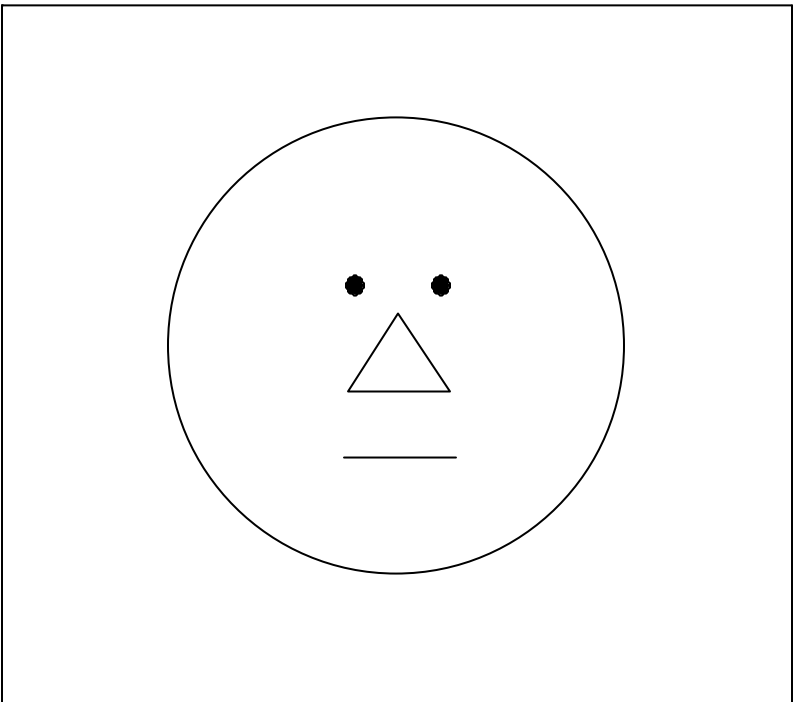
問題 1・3 平成八年度版『国語 二上』 (光村図書)  
平成四年度版『国語 二下』 (光村図書)

問題 2 平成八年度版『新しい国語 二上』 (東京書籍)

# 形あてゲーム

年 組 名前

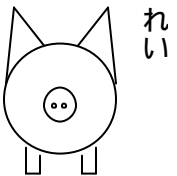
1、せつめいをよく聞いて、そのとおりに絵をかくゲームをしましょう。



まず、大きなまるを一つかいてください。  
つぎに、まるのまん中に点を二つ、よこにならべてかいてください。  
それから、点の下に、上むきの小さい三角を一つかいてください。  
さいごに、三角のすぐ下に、よこ線を一本かいてください。

2、おなじように、先生のせつめいをよく聞いて、絵をかいてみましょう。

(先生のせつめい)



れい

あるていぶつづぶつの絵をかきましょう。  
はじめに、おおきなまるを一つかきます。  
そして、そのまん中に、いまかいたまるのはんぶんの大きさのまるをかき、その中には、小さなまるを二つ、よこにならべてかきます。これは、はなです。  
つぎに、目をかきます。目は、はなの上に、みじかいたての線を二本、すこしはなしてかきます。  
こんどは耳です。耳は、とがった山のようなかたちを二つ、目の上のあたりにかきます。  
さいごに、足をかきます。大きなまるの下に、たての線を左右に二本ずつつけ、下を閉じます。この線は、目になっているたての線より長くして、右と左の間を広くあけてかきます。  
なんとていぶつづぶつになりましたか。

(ぶた)

3、友だちと組になり、いろいろなもののかき方を聞いて、絵をかいてみましょう。

(れい)

